

食品ロス削減対策について

1 「食品ロス」とは

P 2～P 3

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。

日本では年間約 646 万トンもの食品ロスが発生しています。

これは、世界の食糧援助量の約 2 倍に相当し、これを国民 1 人あたりに換算すると、お茶碗 1 杯分の食べ物が毎日捨てられていることとなります。

この食品ロスを削減することが、ごみを減量する上で重要な課題となると考えております。

2 国内における食品ロス削減に向けた動き

P 4～P 9-2

- ・国においては、食品ロスの削減に関連する関係省庁（消費者庁、農林水産省、環境省、経済産業省、文部科学省）が連携して、平成 24 年 7 月に「食品ロス削減関係省庁等連絡会議」を設置し、食品ロス削減に取り組んでいる。
- ・地方公共団体においては、「食べきり運動」の趣旨に賛同する自治体により、食品ロスを削減することを目的に「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」が平成 28 年 10 月に設置されております。

3 福島県の取組み

P 10～P 12

- ・もったいない！食べ残しゼロ推進運動の実施

「食べ残しゼロ協力店・事業所」認定店

福島県全体 124 店舗、うち、いわき市内では県の呼びかけに賛同した協力店が飲食店 14 店舗、小売店 1 店舗（平成 30 年 10 月 26 日現在）が加入しております。

- ・ホームページによる「食品ロス対策」広報
- ・県商工会議所連合会、県商工会連合会、生活衛生同業組合等を通じて「宴会 5 箇条」のチラシを飲食店等に配布・周知し、忘新年会シーズンにおける食品ロス削減への協力を要請
- ・宴会での食べきりを、ラジオ放送や県ホームページで配信
- ・食品ロス削減／啓発用ポスター、チラシ、リーフレットの作成 など

4 本市の取組み

- ・全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会への加入 H30.08 加入（いわき市）
- ・いわき市ホームページ「食品ロスの削減について」広報
- ・広報いわき 11 月号への特集記事の掲載
- ・いわき市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」による情報提供

5 本市の今後の取組予定

- ・全国食べきり運動ネットワークの会員（各自治体）との情報共有・交換を図りながら有効な取り組みを検討。
- ・「食品ロス削減」は、食料資源の有効活用や、ごみ減量の推進を図る重要な課題であることから、定期的に審議会でも議論していきたい。

6 食品ロス削減対策への意見等について